

竜巻防災訓練の手引き



平成 27 年 3 月
福岡管区気象台

1. はじめに

竜巻等の突風は狭い範囲で突発的に発生することが多いため、大雨等の予測に比べると、高い精度で予測することは困難です。また、発生後の移動速度も速いため、発生に気づいてから、対応行動を取るまで時間的な余裕がない場合が予想されます。

児童・生徒に竜巻に関する対応行動について理解させ、訓練を実施することで、主体的に行動する態度を育成し、発生時に落ち着いて行動することが期待できます。

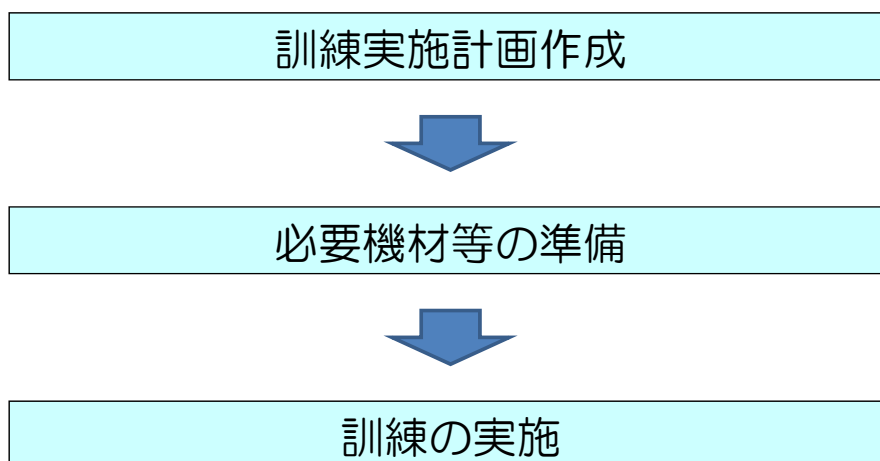


2. 訓練の目的

竜巻についての正しい知識をもち、身を守る方法を学ぶ。

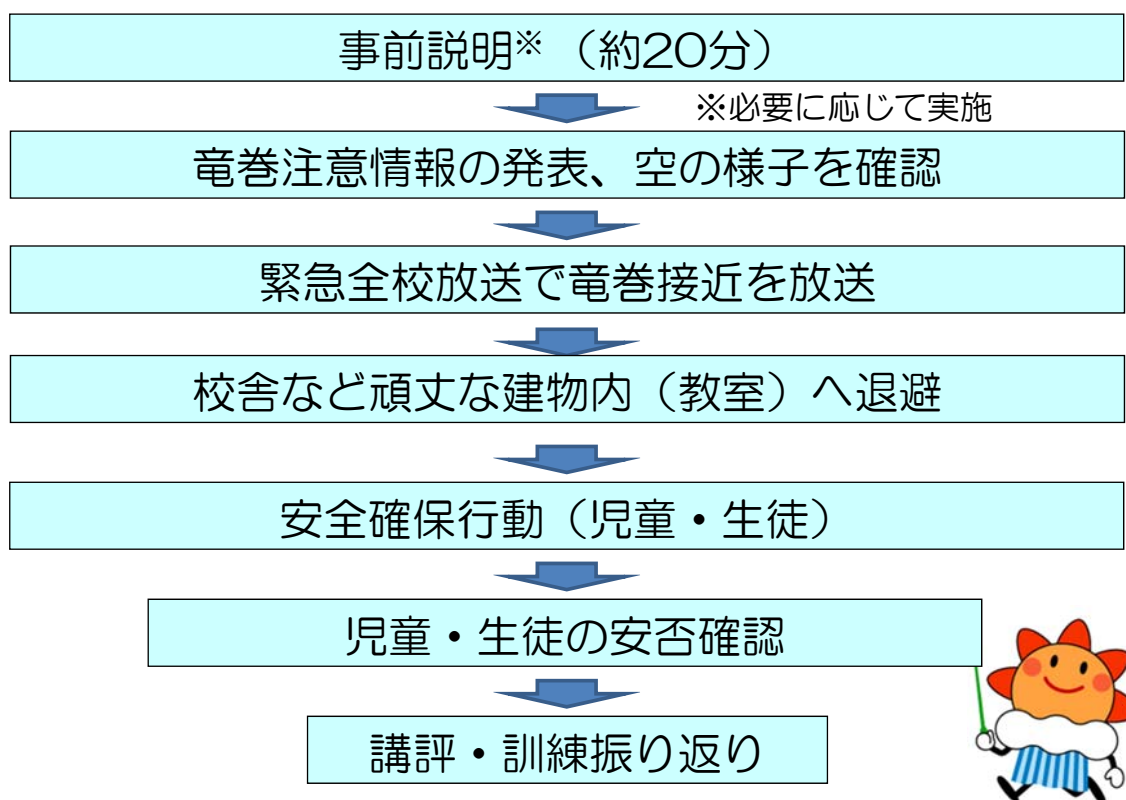
竜巻が発生した際に、児童・生徒が的確な判断と迅速な行動がとれるよう訓練する。

3. 訓練を実施するまで



※訓練の準備の機会に学校内の危険箇所の確認と対処をしておきましょう。

4. 訓練の流れ



5. 参考資料

竜巻防災訓練イメージ

学校を対象とした竜巻防災訓練の事例
（北九州市立板櫃中学校における訓練の様子）



①事前説明



②頑丈な建物（教室）へ退避



③安全確保行動（児童・生徒）



④児童・生徒の安否確認

(訓練実施計画作成例)

竜巻防災訓練実施計画

平成〇〇年〇月〇日

〇〇市(町)立〇〇中(小)学校

1 目的

- ・竜巻についての正しい知識をもち、身を守る方法を学ぶ。
- ・竜巻が発生した際に、児童・生徒が的確な判断と迅速な行動がとれるよう訓練する。

2 日時

平成〇〇年〇月〇日(〇) 〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分

3 内容

体育館で事前説明を聞いた後、教室に移動し訓練を実施する。授業中、気象台から竜巻注意情報が発表され、その後、竜巻が発生し接近したことを想定して避難体制(安全確保行動)をとる。

4 訓練の流れ(※竜巻は、〇側で発生の設定)

時 間	生徒の行動	教職員の動き
14:50～	体育館に集合	全校集会の隊形で整列させる
14:50～	事前説明(必要に応じて実施)	進行(〇〇)
15:10～	【竜巻注意情報発表の放送を聞く】 生徒は屋外にいる設定とし、教室への移動を開始する	・情報確認(校長または担当教諭) パソコンまたは携帯電話等により「竜巻発生確度ナウキャスト」気象庁HP等で確認。 ⇒「発生確度2」が学校付近に出現した場合または近づく可能性がある場合を確認 ・全校放送(教頭) 「竜巻注意情報が発表されました。竜巻が発生し学校に近づく可能性があります。屋外にいる生徒は先生の指示をよく聞き、周囲の状況に十

		分注意して教室へ入ってください。」（繰り返し） ・担任外の職員は、所定の場所（避難経路）に立ち、生徒を静かに速やかに教室へ移動させる。 ・担任は生徒を誘導し、速やかに教室へ戻す。
15:15～	教室で待機する。	・担任は教室で点呼を行い、学年主任に報告をする。 ・学年主任は教頭に報告を行う。
15:20～	【竜巻急接近の放送を聞く】 避難体制（安全確保行動）を取る。 ・窓の鍵をかけ、カーテンを閉める。 ・机を竜巻が来る方向に寄せる。 （バリケードを作る） ・竜巻が来る方向とは逆の方向で身をかがめ、低い姿勢を取る。 ・鞆などの身の回りにあるもので頭部を守る。	・緊急全校放送（教頭） 「緊急放送。学校の〇側から竜巻が近づいています。あわてず落ち着いて行動しましょう。先生方は窓の鍵をかけ、カーテンを閉めてください。生徒は速やかに所定の位置に机を移動し、鞆で頭部を守る体勢を取りましょう。」（繰り返し） ・学年主任は、避難体制（安全確保行動）が整ったら教頭に報告を行う。
15:25～	【竜巻が過ぎ去った放送を聞く】 ・教室で待機する。	・緊急全校放送（教頭） 「竜巻は去りましたが、まだ外には出ないでください。生徒のみなさんは教室で静かに待機をしてください。先生方は教室内の安全を確認するとともに点呼を行い、生徒の健康状態を確認・報告してください。」（繰り返し） ・担任は教室で点呼を行い、学年主任に報告をする。 ・学年主任は教頭に報告を行う。
15:35～	教室で講評を聞く。	校内放送による講評（校長）
15:40～	教室を元の状態に戻し、振り返りを行う。	担任は教室でアンケート用紙等を活用し、振り返りとまとめを行う。

5 避難体制（安全確保行動）時の確認事項

- ・窓の鍵を閉め、カーテンを閉めたか
- ・放送は静かに聞いたか
- ・所定の位置に机を移動したか（バリケードを作ったか）
- ・鞆など身の回りのもので頭部を守ったか
- ・身をかがめ、低い姿勢を取ったか

6 担当

- ・訓練責任者・講評（担当：校長）
- ・放送（担当：教頭）
- ・進行（担当：〇〇）
- ・時間管理（担当：〇〇）
- ・必要機材準備（担当：〇〇）

7 必要機材

- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・長机
- ・椅子
- ・マイク
- ・アンケート用紙（教職員用、児童・生徒用）

8 体育館から教室へ戻る際の経路（別紙を参照）

○側階段利用	1－1～1－3 2－1～2－3 3－1～3－3
○側階段利用	1－4～1－6 2－4～2－6 3－4～3－6
○側階段利用	1－7～1－9 2－7～2－9 3－7～3－9

きゅう おおあめ かみなり たつまき
急な大雨・雷・竜巻

み まも
から身を守ろう！



急な大雨・雷・竜巻
から身を守ろう！



<事例紹介>

北九州市立光貞小学校における竜巻防災訓練（平成 26 年 9 月 10 日実施）

—竜巻を対象とした訓練を初めて実施—

訓練のねらい

- 竜巻発生メカニズムや発生時における身を守るための訓練を通して、集団で安全に避難できる態度や能力を養い、冷静にその場に応じた行動がとれるようにする。
- 教職員が災害に備え、児童が躊躇なく迅速且つ安全に避難することができるように訓練し、防災意識の向上に努める。

竜巻防災訓練の手引きも活用

訓練スケジュール

- 13:40 事前に校内放送で、気象庁から配布した DVD 等を活用して、竜巻に関する知識や対応行動などについて確認する（写真①、②）。
- 13:53 竜巻注意情報を入手後、空の様子を確認し、積乱雲の近づく兆しを感じたことから、校長先生は避難命令を発する。
教頭先生が非常ベル・緊急放送により、竜巻接近を通報するとともに、避難行動を指示する。
- 13:55 教室で対応行動をとる（写真③、④）。
- 14:05 全体児童の人員確認及び状況報告。校内放送による校長先生の講評。
- 14:15 各学級での振り返り

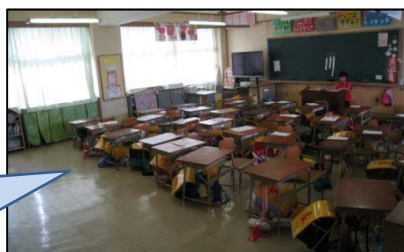


①クイズを利用した事前説明



②DVD を視聴

高学年の子どもたちは、ランドセルで背中を、帽子で頭部などを守る行動を行いました。



③安全確保行動（1～4年）



④安全確保行動（高学年）

低学年の子どもたちは、急いで机を動かすことが難しいので、机の下に入り体を守る行動を行いました。

竜巻などの突風に自分が出会うことはないと思うけど・・・
対応行動を知っているとあわてないで行動できるね。



※福岡県では、23 年間（1991 年～2013 年）に 6 件の竜巻が陸上で確認されています。

1. 発達した積乱雲による災害・事故防止 啓発ビデオ映像

「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」



※平成 25 年度に全ての小中学校に配布。

以下のホームページでも閲覧することができます。

URL:http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/cb_saigai_dvd/index.html

2. リーフレット



以下のホームページでダウンロードすることができます。

URL:<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/index.html>

謝辞

「竜巻防災訓練の手引き」の作成にあたり、北九州市教育委員会、北九州市立光貞小学校、北九州市立板櫃中学校、北九州市立大谷中学校に御支援いただきました。心より感謝申し上げます。